

入札公告の一部訂正について

令和8年2月12日付けで公告した「8年度十勝西部森林管理署デジタル複合機賃貸借及び保守業務（第1号～第4号）（電子調達対象案件）」の入札公告について、下記のとおり訂正します。

令和8年2月16日

分任支出負担行為担当官
十勝西部森林管理署長 信田 孝広

記

1. 訂正箇所及び内容

5 仕様書等に対する質問

（2）質問に対する回答の掲載期間

【誤】 令和8年2月24日（火曜日）～令和8年3月1日（月）

【正】 令和8年2月24日（火曜日）～令和8年3月2日（月）

以上

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

ただし、本入札に係る契約の締結は、令和8年度予算が成立し、当該業務に係る予算示達がなされることを条件とします。

令和8年2月16日

分任支出負担行為担当官
十勝西部森林管理署長 信田 孝広

1 競争に付する事項

本件は、電子調達システム（以下「システム」という。）により行う。なお、システムによる入札によりがたい者は、発注者へ事前に届け出る事により紙入札で参加することができるものとする。

(1) 物件名

入札物件番号	物件の名称
第1号	8年度十勝西部森林管理署デジタル複合機賃貸借及び保守業務
第2号	8年度清水森林事務所ほかデジタル複合機賃貸借及び保守業務
第3号	8年度大樹森林事務所ほかデジタル複合機保守業務
第4号	8年度十勝西部森林管理署広幅複写機保守業務

(2) 規格及び数量 別紙仕様書のとおり

(3) 納入場所 別紙仕様書のとおり

(4) 履行期間 別紙仕様書のとおり

2 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、予決令第70条中、特別の事情がある場合に該当する。

(2) 令和07・08・09年度農林水産省競争参加資格（全省庁統一資格）の『役務の提供等』においてA、B、CまたはDの等級に登録されており、北海道地域の競争参加資格を有する者であること。

(3) 北海道森林管理局長等から「物品の製造契約、物品の購入契約及び役務等契約指名停止等措置要領」に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

(4) ア システムにより入札する場合

令和8年3月2日（月曜日）午後5時までに上記（2）の証明書類をシステムにより

送信しておかなければならない。また、委任状がある場合は、証明書類と併せて送信するか、別途システムにより委任状を登録しておかなければならない。

イ システムにより入札できない場合

本公告に記載された資格を有していると認められる上記（２）の証明書類及び提案する機種が仕様書等に適合すると確認できる書類等（カタログを含む）と別添「紙入札参加届」を令和８年３月２日（月曜日）午後５時までに５の（１）イに示す場所に電子メール、郵送又は持参により提出しなければならない。また、委任状がある場合は、当日の入札開始時刻１０分前までに６の（２）に示す場所に提出しなければならない。なお、委任状提出時に本人確認を行うことがある。

3 入札の方法

- （１） 前記１に示す物件ごとに入札するので、紙入札により入札する場合は、入札書に物件番号・物件名を明瞭に記載して入札内訳書を添付すること。また、システムにより入札する場合は、入札内訳書を入札書に添付すること。

なお、入札金額は入札内訳書に各項目の予定数量に単価を記入し、乗じた金額の合計が入札書の金額となるので、入札内訳書の合計額と入札金額が一致していることを確認すること。入札内訳書の合計額と入札金額が一致していない場合は、その入札書を無効とする。

- （２） 落札額の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額から消費税相当額を除いた金額を入札書に記載すること。

4 契約条項及び北海道森林管理局競争契約入札心得を掲載する場所並びに日時

- （１） 掲載場所 契約条項については、北海道森林管理局のホームページ及びシステム上に入札公告の仕様書等として全て掲載しており、入札心得については、北海道森林管理局のホームページ上の次の場所に掲載しています。

[『北海道森林管理局ホームページ>公売・入札情報>競争参加資格関係・入札参加者への注意事項等>資料7：北海道森林管理局競争契約入札心得』](#)

- （２） 日 時 令和８年２月１２日（木曜日）～令和８年３月２日（月曜日）

5 仕様書等に対する質問

- （１） 仕様書等に対する質問がある場合においては、次により提出すること。

ア 受領期限 令和８年２月２０日（金曜日） 午後５時まで

持参する場合は、上記期限までの休日を除く毎日、午前９時～午後５時（ただし、正午～午後１時を除く。）

イ 提出場所 〒０８０－０８０９ 帯広市東９条南１４丁目２番地２

十勝西部森林管理署 総務グループ 経理担当

電話０１５５－２４－６１１８

メールアドレス：h_tokachiseibu@maff.go.jp

ウ 提出方法 書面の持参、電子メール、システム、又は郵送による（様式自由）。
郵送による場合は、受領期限必着とする。

- （２） （１）の質問に対する回答は、書面、電子メール及びシステムにより行う。また、（１）の質問及び回答書の写しを、北海道森林管理局のホームページに掲載する方法により公表する。

掲載期間 令和８年２月２４日（火曜日）～令和８年３月２日（月曜日）

6 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

(1) システムにより入札する場合

入札開始日 令和8年2月26日(木曜日)午前9時00分
入札締切 令和8年3月3日(火曜日)午前10時00分
締切後直ちに開札する。

(2) 紙入札により入札する場合

場 所 十勝西部森林管理署 大会議室(2階)
帯広市東9条南14丁目2番地2
日 時 令和8年3月3日(火曜日)午前10時00分入札開始。

締切後直ちに開札する。

(3) 郵便により入札する場合

郵便入札を認める。郵便により入札を行う場合は、以下の日時、送付先に入札書が到着するように、郵便(書留郵便に限る)で差し出すこと。

ただし、再度の入札を引き続き行う場合には、郵便により参加した者は再度の入札には参加できません。

日 時 令和8年3月2日(月曜日)午後5時00分まで
送付先 〒080-0809 帯広市東9条南14丁目2番地2
十勝西部森林管理署 総務グループ 経理担当

- ※ 郵便による入札書は、封筒に入れ密封し、かつ、その封皮に氏名(法人の場合はその名称又は商号)及び「何月何日開札、(物件番号・物件名)の入札書在中」と記した上で外封筒に入れて投函すること。
また、外封筒の封皮にも「何月何日開札(物件番号・物件名)の入札書在中」と記すこと。
- ※ 本公告等に記載された資格等を満たしていると認められる証明書類等を同時に提出する場合は外封筒に同封すること。

7 入札保証金及び契約保証金

免除する。

8 落札者の決定方法

予決令第79条に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行ったものを落札者とする。

9 入札の無効

本公告に示した競争参加に必要な資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

10 契約にあたっては契約書を作成するものとし、システムによる契約を可とする。

11 その他

(1) 本公告に記載のない事項については、仕様書、北海道森林管理局競争契約入札心得及び契約書(案)による。

(2) 契約締結日は令和8年4月1日以降とするが、令和8年度予算成立が4月1日以降と

なった場合は予算成立日とする。また、暫定予算となった場合は、暫定予算の期間分のみの契約とする。

- (3) システムによる手続き開始後の紙入札への途中変更は、原則として行わないものとするが、入札参加者側にやむを得ない事情が生じた場合には、発注者の了承を得ることにより、紙入札に変更することができるものとする。
- (4) システムに障害等のやむを得ない事情が生じた場合には、紙入札に変更する場合がある。

※「電子調達システム」については、北海道森林管理局のホームページを参照願います。

https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/keiri/denshi_chotatsu.html

- (5) 入札者は、「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」（令和4年9月13日ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議決定）を踏まえて人権尊重に取り組むよう努めること。

お知らせ

1 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。詳しくは、下記をご覧ください。

『[北海道森林管理局ホームページ](#)>公売・入札情報>発注者綱紀保持対策』

2 農林水産省は、経済財政運営と改革の基本方針2020について(令和2年7月17日閣議決定)に基づき、書面・押印・対面の見直しの一環として、押印省略などに取り組んでいます。